

【アンケート内容】

愛知県地域保健医療計画(平成 30 年度～令和5年度)では、東三河北部医療圏は、「圏域の面積が著しく広大であることや、へき地医療対策の必要性等の観点から引き続き単独の医療圏とし、救急医療等不足する医療機能については、東三河南部医療圏と連携を図っていく。また、次期の見直しに向けて、東三河南部医療圏との統合の適否について、議論を深めていく」とされています。

愛知県が進める次期計画(令和6年度～)の策定にあたり、東三河南部医療圏と東三河北部医療圏との連携や、医療圏の統合の適否について、意見があればご記入ください。

【各会員医療機関からの回答】

・豊川市民病院

当院では、これまでも東三河北部医療圏から急性期患者の受入れを行うなど連携をしてきたところです。特に、新型コロナウイルス感染者の増大により救急患者の受入れが困難であった時には、相互に協力するなどの対応を取ってきました。

今後も東三河北部医療圏の医療機関と連携し、東三河地域全体に安定した医療を提供できるように努めることが重要だと考えます。

・可知病院

医療圏の統合に際し、病床数の基準が変更する場合、予め周知して頂きたいと思います。今までの場合、計画ができてからの協議であったため、情報を知らない医療機関では、計画すら立てれない状況です。よろしくお願い致します。

・渥美病院

医師の偏在化対策が不十分な状況の中、医療圏を統合することにより、センター化集約化が更に進み、地理的要件で必要と位置付けられる医療機関への医師の派遣が更に遅れてしまうことが懸念される。

・豊橋ハートセンター

東三河南部、北部医療圏の連携については必要であると考えます。

当院は東三河地区の循環器系疾患の最終拠点を目指しており、高度診療施設として、救急医療にもしっかりと携わっていきたいと考えております。現在も、新城市民病院、東栄診療所など北部地区への医師派遣や研修医師の受入れ等の連携を図っています。

・豊橋市民病院

東三河南部医療圏と東三河北部医療圏の統合については、地理的相違等もありますが、圏域の面積が広くなりすぎるため、救急医療を考えると患者さんの搬送時間の点で、現実的ではないと考えます。

一方で、第三次救急医療機関が南部圏域は2病院あるのに対し、北部圏域にはないため、区域を再編することも一案と考えます。

当院は、引き続き東三河の中核病院としての役割を果たしていきたいと考えています。